

取 議 発 第 9 2 号
令和5年12月12日

取 手 市 長
中 村 修 殿

取手市議会議長
金 澤 克 仁

建設経済常任委員会における提言書の提出について（通知）

公共交通空白地域の解消に向けた施策に関する調査を実施した結果、建設経済常任委員会より提言書の提出依頼がありましたので、別添のとおり提言書を提出いたします。

令和5年12月8日

取手市議会議長

金澤克仁 殿

建設経済常任委員会

委員長 染谷和博

建設経済常任委員会の提言書について（依頼）

建設経済常任委員会において、公共交通空白地域の解消に向けた施策に関する調査を実施し、別紙の提言書をまとめましたので、速やかに執行機関に提言していただきたく御依頼申し上げます。

公共交通空白地域の解消に向けた提言書

建設経済常任委員会では、市民との意見交換会において、コミュニティバスの運行ルートの変更により、病院や買い物に行く際に多大な負担が生じている旨の意見を市民の皆様からいただいたことを契機として、本市における公共交通空白地域の解消に向けた施策を調査するため、令和4年度には、千葉県柏市、山形県南陽市、福岡県嘉麻市、三重県三重郡菰野町に、オンラインも活用しながら、効果的かつ効率的に先進地視察を行いました。

令和5年度には、「公共交通とまちづくり」をテーマに開催した議員研修会の講師としてお招きした拓殖大学名誉教授の秋山義継先生に、委員会の参考人としても出席していただき、公共交通機関のデマンドに関し、専門的な見地から御意見をいただきました。

自動車運転業務の時間外労働の上限規制が改められることにより生じる、いわゆる2024年問題が目前に迫り、運転業務の担い手不足により、公共交通空白地域の更なる拡大が懸念される状況にあります。

これらの調査結果や社会環境等を勘案し、当委員会として、本市における公共交通空白地域の解消に向けた施策について、執行機関への現状調査を行い、委員間で討議を重ねた結果、下記の事項について提言します。

記

- 1 全てを整備するには時間もかかり財政負担も大きいので、まずは試行的に乗り合いタクシーを公共交通空白地域に導入すること。
- 2 学校、障害者福祉施設、介護施設等への送迎に使用されている車両について、空き時間等を有効活用できないか、現状調査を行うこと。
- 3 国土交通省が行っているAIオンデマンド交通の公募に参加を検討すること。
- 4 移送サービスとの連携を図ること。